



平成 23 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社コロナ
代 表 者 代表取締役社長 内田 力
(コード番号 5909 東証第 1 部)
問 合 せ 先 常務取締役常務執行役員経理部・
広報室担当兼経理部長 及川 良文
(TEL 0256-32-2111)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

記

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 3 月 22 日に公表した通期業績予想を以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 23 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 23 年 3 月 22 日発表)	78,200	1,830	2,180	1,070	37 円 48 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	80,080	2,400	2,760	1,540	54 円 09 銭
増減額(B-A)	1,880	570	580	470	—
増減率(%)	2.4	31.1	26.6	43.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	75,240	863	1,151	460	16 円 01 銭

2. 修正の理由

石油ファンヒーターのデザイン性と性能を高めた新商品などを市場投入することで需要の創出と積極的な商品供給を行なう一方、3月末まで寒波が断続的に到来したことから、暖房機器の販売が全般にわたり好調に推移したことと併せて、被災地向けなどの暖房、煮炊き、明かり用として石油ストーブの出荷が大幅に増えました。エコキュートを始めとする住宅設備機器も年間を通じて好調に推移し、とりわけ石油給湯機においては、高効率タイプのラインナップ拡充、石油価格の安定などからリフォームや買換え需要を取り込むことができ、売上、利益とも大きく前回発表予想を上回る見通しとなりました。

以上により、平成23年3月22日に公表した通期の連結業績予想を上記のとおり修正します。

なお、本予想には東日本大震災に係る費用として約2.3億円を織り込んでおります。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上